第二講　文学史と口語文法

1　近代文学史の基礎教養

言文一致運動―主に明治期―……近代（明治以降）らしい最初の文学運動。「文学の目的は、人間性（ヒューマニティー）を写すこと！」したがって、普段使いの話し言葉の日本語で文学を書く。勧善懲悪の否定と**写実主義**。

坪内逍遥……東京大卒。
主著・理論書→『小説神髄』　入試・小説→『当世書生気質』
戯曲『桐一葉』／翻訳→シェイクスピア／早稲田大学校歌『都の西北』にも参加。

二葉亭四迷……坪内逍遥博士の弟子・東京外語大ロシア語学科中退。
主著・小説→『浮雲』　入試・理論書→『小説総論』
翻訳→『片恋』ロシアの文豪ツルゲーネフの翻訳

山田美妙……第三の男

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

前史　戯作文学……**時代は明治でも、文化的には江戸のまま。**

仮名垣魯文……
『西洋道中膝栗毛』　十返舎一九の『東海道中膝栗毛』のパロディー
『安愚楽鍋』　文芸批評家の、元多摩美術大学学長奥野健男氏は酷評している

近代俳句・ホトトギス派―主に明治期―……近代俳句・近代短歌。俳句は滑稽、諧謔などの言葉の遊戯ではなく、写実・写生。

正岡子規……愛媛県松山市生まれ・野球好き。夏目漱石の同窓・『吾輩は猫である』は雑誌「ホトトギス」にて発表された。
三十五歳で死去。
『獺祭書屋俳話』『歌詠みに与ふる書』『病牀六尺』
「鶏頭の十四五本もありぬべし」

高浜虚子……正岡子規の弟子・松山市生まれ。
『虚子俳話』
「白牡丹といふといへども紅ほのか」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

近代短歌―明治～大正期―……斎藤茂吉(さいとうもきち)

斎藤茂吉……精神科医師＋歌人。母を詠んだ歌が多い。雑誌「アララギ」

『赤光(しゃっこう)』『あらたま』

「のど赤き玄鳥(つばくらめ)ふたつ屋梁(はり)にゐて足乳(たらち)ねの母は死に給ふなり」

「死に近き母に添寝のしんしんと遠田(とおだ)のかはづ天に聞ゆる」

石川啄木(いしかわたくぼく)……二十七歳で死去。

『あこがれ』（第一詩集）『一握(いちあく)の砂(すな)』（第一歌集）

『悲(かな)しき玩具(がんぐ)』（第二歌集・死後出版）

「不来方(こずかた)のお城の草に寝ころびて／空に吸はれし／十五の心」

「東海(とうかい)の小島の磯(いそ)の白砂(しらすな)に／われ泣きぬれて／蟹(かに)とたはむる」

「はたらけど／はたらけど猶(なお)わが生活(くらし)楽にならざり／ぢつと手を見る」

『食(くら)ふべき詩』『時代閉塞の現状』…評論

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

硯友社(けんゆうしゃ)―主に明治期―……最初の文学結社。雑誌は『我楽多文庫(がらくたぶんこ)』。欧米化への反動、擬古典(ぎこてん)主義(江戸の井原西鶴(いはらさいかく)や近松門左衛門(ちかまつもんざえもん)を理想とする)

尾崎紅葉(おざきこうよう)……
『金色夜叉(こんじきやしゃ)』『多情多恨(たじょうたこん)』

山田美妙(やまだびみょう)……
『夏木立(なつこだち)』『胡蝶(こちょう)』

幸田露伴(こうだろはん)……厳密には硯友社同人ではないが、擬古典主義として、「紅露(こうろ)時代」を築いた。
『五重塔(ごじゅうのとう)』『風流仏(ふうりゅうぶつ)』
次女……幸田文(こうだあや)『おとうと』→自伝的小説。センター試験で登場。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

自然主義・私小説―主に明治期―……人間のありのまま・社会のありのまま。

島崎藤村……英語教師→詩人→小説家→初代日本ペンクラブ会長。
『若菜集』（デビュー作・詩集）『落梅集』（詩集）
『破戒』（エミール・ゾラ『私は弾劾する』の影響・社会派自然主義／家族の犠牲）
『夜明け前』（木曽路はすべて山の中である。……）

田山花袋……恥ずかしい私生活の暴露・私小説の代表。
『蒲団』『田舎教師』

徳田秋声

正宗白鳥

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

反自然主義・余裕派・高踏（こうとう）派——主に明治期——……海外留学経験と広範な学識・文学の虚構性。

夏目漱石（なつめそうせき）……東大英文科講師→朝日新聞専属小説家。イギリス留学
『吾輩は猫である』（デビュー作）
『三四郎（さんしろう）』『それから』『門（もん）』…前期三部作
修善寺（しゅぜんじ）の大患（たいかん）（胃潰瘍（いかいよう）と大量吐血（とけつ））
文部省からの文学博士号辞退
『彼岸過迄（ひがんすぎまで）』『行人（こうじん）』『こころ』…後期三部作
『明暗（めいあん）』（未完の遺作）

森鷗外（もりおうがい）……陸軍軍医総監＋小説家。ドイツ留学
『青年（せいねん）』『雁（がん）』『舞姫（まいひめ）』…知識人、エリートの青春
『阿部一族（あべいちぞく）』『山椒大夫（さんしょうだゆう）』『高瀬舟（たかせぶね）』…歴史小説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

白樺派（しらかば）―主に大正期―……学習院グループ（旧制学習院中等科）の同人誌『白樺』に集まったメンバー。人道主義・博愛・ヒューマニズム・理想主義。

志賀直哉（しがなおや）……ボディービルによる鋼の肉体の持ち主。短編小説の神様とも呼ばれる。短編『出来事（できごと）』はセンター試験でも出題された（サプリの動画授業にも入っています）。足尾銅山（あしおどうざん）の大株主である父と衝突し、その後、和解。
『暗夜行路（あんやこうろ）』『和解（わかい）』『城の崎（きのさき）にて』（鉄道事故と温泉療養）

有島武郎（ありしまたけお）……学習院で皇太子の学友に選ばれる。軽井沢の別荘で人妻と心中。
『或（あ）る女（おんな）』『カインの末裔（まつえい）』『生（う）まれ出（い）づる悩（なや）み』

武者小路実篤（むしゃのこうじさねあつ）……貴族（子爵）の家柄。
『友情』『真理（しんり）先生』『幸福者（こうふくもの）』『お目出（めで）たき人（ひと）』『その妹』

里見弴（さとみとん）……有島武郎の弟。『多情仏心（たじょうぶっしん）』

長与善郎（ながよよしろう）……『竹沢（たけざわ）先生と云（い）ふ人』『青銅（せいどう）の基督（きりすと）』

倉田百三（くらたひゃくぞう）……『出家とその弟子』『愛と認識との出発』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

新思潮派―主に大正期―……東大グループの同人誌『新思潮』に集まったメンバー。

夏目漱石の弟子筋とも言える。別名「赤門派」。ここで紹介するのは、第三次・第四次「新思潮」。

芥川龍之介（あくたがわりゅうのすけ）……東大英文科卒・三十五歳で薬物自殺。

『鼻（はな）』『羅生門（らしょうもん）』『芋粥（いもがゆ）』などは今昔（こんじゃく）物語の翻案（アレンジ）

『河童（かっぱ）』　寓話であり人間社会への風刺

『枯野抄（かれのしょう）』　松尾芭蕉の臨終場面

『歯車（はぐるま）』

菊池寛（きくちかん）……一高で芥川龍之介と同級生。文藝春秋（ぶんげいしゅんじゅう）社の創始者。菊池寛賞は、日本版ピュリッツァー賞。

芥川賞（純文学の新人賞）・直木賞（大衆文学賞）

『父帰る（ちちかえる）』『恩讐（おんしゅう）の彼方（かなた）に』

久米正雄（くめまさお）……東大英文科卒。

山本有三（やまもとゆうぞう）……東大独文科卒。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

耽美派―主に大正期―……芸術至上主義・唯美主義…世間的常識や道徳よりも美を優先する。

永井荷風……江戸の若旦那。
『あめりか物語』『ふらんす物語』『濹東綺譚』『腕くらべ』『すみだ川』

谷崎潤一郎……マゾヒズムの美学。
『春琴抄』『刺青』『痴人の愛』『細雪』
『陰翳礼讃』（評論）
源氏物語の現代語訳

新感覚派―主に昭和期―……戦時中、人間の心理表現に磨きをかける。

川端康成……日本人初のノーベル文学賞受賞者。
『伊豆の踊子』（道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃……）
『雪国』（国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。……）
『山の音』『千羽鶴』『古都』『掌の小説』（短編集）

横光利一……
『日輪』『春は馬車に乗って』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

プロレタリア文学―主に昭和期―……マルクス主義の文学運動。革命による労働者の解放を目指す戦う作家たち。雑誌『文芸戦線（ぶんげいせんせん）』『戦旗（せんき）』

小林多喜二（こばやしたきじ）……小樽（おたる）商科大卒→銀行員→作家→特高警察による拷問で死亡。
『蟹工船（かにこうせん）』　漁業労働者の悲惨さ
『党生活者（とうせいかつしゃ）』

葉山嘉樹（はやまよしき）……早大文学部中退。
『海に生（い）くる人々』　横浜（よこはま）の港湾労働者の悲惨さ
『セメント樽（だる）の中の手紙』

徳永直（とくながすなお）……少年時代から工員生活。
『太陽のない街』　印刷工の悲惨さ

宮本百合子（みやもとゆりこ）……プロレタリア文学の紅一点。
『伸子（のぶこ）』『播州平野（ばんしゅうへいや）』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四季派―主に昭和期―詩……堀辰雄編集の雑誌『四季』に集まったメンバー。

堀辰雄……『風立ちぬ』
中原中也……三十歳で夭逝。「汚れちまった悲しみに……」
『山羊の歌』『在りし日の歌』（小林秀雄により死後出版）
三好達治・立原道造・丸山薫

歴程派―主に昭和期―詩……高村光太郎編集の雑誌『歴程』に集まったメンバー。

高村光太郎……『智恵子抄』『猛獣篇』『道程』
草野心平……『蛙』『第百階級』
すでに故人となっていた宮沢賢治の詩も収録。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

近代文学史の復習問題

その1 『あこがれ』『一握の砂』『悲しき玩具』などの詩集や歌集を残した近代の歌人は誰か。

ア 夏目漱石　イ 森鷗外　ウ 石川啄木　エ 武者小路実篤

その2 夏目漱石の門下生で、『羅生門』『鼻』『芋粥』など日本の古典を下じきにした作品を書いた小説家は誰か。

ア 斎藤茂吉　イ 樋口一葉　ウ 柳田国男　エ 芥川龍之介

その3 近代の文学理論書で言文一致を説いたものはどれか。

ア 『歌詠みに与ふる書』　イ 『小説神髄』　ウ 『小説の方法』　エ 『「いき」の構造』

その4 日本人初のノーベル文学賞受賞者は誰か。

ア 川端康成　イ 湯川秀樹　ウ 大江健三郎　エ 村上春樹

その5 「東海の小島の磯の白砂に／われ泣きぬれて／蟹とたはむる」などの短歌を収録した石川啄木の歌集はどれか。

ア 『智恵子抄』　イ 『道程』　ウ 『春と修羅』　エ 『一握の砂』

その6 「のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳ねの母は死に給ふなり」などの短歌を収録した斎藤茂吉の歌集はどれか。

ア 『赤光』　イ 『みだれ髪』　ウ 『別離』　エ 『鍼の如く』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その7　「鶏頭の十四五本もありぬべし」などの写生句で知られる正岡子規が創刊に関わった雑誌はどれか。

ア『文学界』　イ『新思潮』　ウ『ホトトギス』　エ『歴程』

その8　明治時代、夏目漱石の初期の作品で、「親譲りの無鉄砲で小供の頃から損ばかりしている」ではじまる小説はどれか。

ア『細雪』　イ『それから』　ウ『こころ』　エ『坊ちゃん』

その9　明治時代、森鷗外の作品で、ドイツ留学の経験をふまえた小説はどれか。

ア『渋江抽斎』　イ『高瀬舟』　ウ『舞姫』　エ『風土』

その10　大正時代、白樺派の志賀直哉によって書かれた自伝的な小説はどれか。

ア『城の崎にて』　イ『蒲団』　ウ『蟹工船』　エ『李陵』

その11　昭和初期、四季派に属する中原中也によって発表された詩集はどれか（二つ）。

ア『山羊の歌』　イ『在りし日の歌』　ウ『一握の砂』　エ『若菜集』

その12　日本人としては二人目のノーベル文学賞受賞者である大江健三郎の小説はどれか。

ア『沈黙』　イ『飼育』　ウ『伊豆の踊子』　エ『雪国』

その13　明治時代、雑誌「ホトトギス」に掲載された夏目漱石のデビュー作はどれか。

ア『吾輩は猫である』　イ『三四郎』　ウ『明暗』　エ『枯野抄』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その14　大正時代、『今昔物語集（こんじゃくものがたりしゅう）』などの古典をもとにして、人間心理を表現した芥川龍之介（あくたがわりゅうのすけ）の作品はどれか。

ア　『檸檬（れもん）』　イ　『山椒魚（さんしょううお）』　ウ　『鼻（はな）』　エ　『風立（かぜた）ちぬ』

その15　川端康成（かわばたやすなり）の代表作で、「道がつづら折りになって、いよいよ天城峠（あまぎとうげ）に近づいたと思う頃」ではじまる作品はどれか。

ア　『雪国（ゆきぐに）』　イ　『陰翳礼讃（いんえいらいさん）』　ウ　『伊豆（いず）の踊子（おどりこ）』　エ　『或（あ）る女（おんな）』

その16　東北地方の農学校に勤めつつ多くの詩を残した宮沢賢治（みやざわけんじ）の童話はどれか。

ア　『銀河鉄道（ぎんがてつどう）の夜（よる）』　イ　『暗夜行路（あんやこうろ）』　ウ　『田舎教師（いなかきょうし）』　エ　『蒲団（ふとん）』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　口語文法（現代文法）の基礎教養

文節の相互関係……文節とは発音上の区切り。「**ネ**」を入れて区切れる。

例文　日本には美しい季節のめぐりがあります。

↓日本には**ネ**　美しい**ネ**　季節の**ネ**　めぐりが**ネ**　あります。

また、文節は相互に関係した役割をもっています。

例文1　今の　日本は　高度な　情報化社会だ。↓主語・述語の関係

例文2　今の　日本は　高度な　情報化社会だ。↓修飾・被修飾の関係

例文3　昨日は　雨だったから　レインコートを　着た。↓接続の関係

例文4　教授と　学生が　討論に　参加した。↓並立の関係

例文5　今度は　自力で　取り組んで　みよう。↓補助の関係

なお、一つの文節は《自立語単独》あるいは《自立語＋付属語》でできています。

自立語と付属語……

自立語＝文をつくる主要パーツ

付属語＝主要パーツをくっつけたり、意味を補佐するネジのような役割

例文　今 **の**　日本 **は**　高度な　情報化社会 **だ**。　↓　自立語　**付属語**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

品詞の分類……

自立語グループ

動詞……**活用する**／述語になれる（用言）／終止形末尾の音は「u」　例（生きる・走る・焼く・着る）
形容詞……**活用する**／述語になれる（用言）／終止形末尾は「い」　例（美しい・かわいい・うまい）
形容動詞…**活用する**／述語になれる（用言）／終止形末尾は「だ」　例（静かだ・壮麗だ・真剣だ）

名詞………活用しない／主語になれる（体言）　例（人間・電車・トースト・セーター・家）
副詞………活用しない／用言を修飾する　例（とっても・かなり・かつて・もっと・たぶん）
連体詞……活用しない／体言を修飾する　例（大きな・小さな・あらゆる・この・あの・その）
接続詞……活用しない／接続語になる　例（しかし・だが・したがって・そして）
感動詞……活用しない／独立語（単独で文になる）　例（おや・まあ・ああ・おはよう・はい・いいえ）

付属語グループ

助動詞……**活用する**／　意味の補助をする役　例（せる・させる・れる・られる）
助詞………活用しない／　意味の補助をする役　例（て・に・を・は）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

名詞の種類……名詞の分類については英語と同じです。

普通名詞＝広く一般的なものごとの名称を表現。一般名詞とも言います。

例　海・川・山

固有名詞＝ただ一つしかないものの名称を表現。

例　インド洋・日本海・ナイル川・利根川（とね）・マッターホルン・駒ケ岳（こまがたけ）・ジョージ＝ワシントン

数詞＝ものの数や分量、順番などを表現。

例　第一・第二・三件・四件・五本・六本・七台・八台

代名詞＝直接の名称ではなく代わりに指し示す表現。

１　人称代名詞…わたし・彼・彼女・だれ

２　指示代名詞…これ・あれ・それ・どれ

形式名詞＝もともとの意味が薄れて、補助的、形式的に使われる名詞。

例　「人間というものは〜」の「もの」・「学ぶとはどういうことか」の「こと」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

副詞と連体詞……活用しない修飾語

副詞＝活用せず、形容詞や形容動詞、動詞を修飾する。

例文1　とてもおいしいタルタルソースですね。（「おいしい」という形容詞を修飾）

例文2　この有名な高原の別荘地はとても静かだ。（「静かだ」という形容動詞を修飾）

例文3　隣家のチワワがしきりに遠吠えする。（「遠吠えする」という動詞を修飾）

連体詞＝活用せず、名詞（体言）を修飾する。

例文　小さな皿にあふれるほどビーンズサラダが盛られている。（「皿」という名詞を修飾）

cf　形容詞や形容動詞は活用し、名詞を修飾するだけでなく、形容動詞や動詞を修飾することができる。

例文1　小さい皿にあふれるほどビーンズサラダが盛られている。（「皿」という名詞を修飾する**形容詞**の連体形）

例文2　小さくたたむことのできる素敵なランチボックスです。（「たたむ」という動詞を修飾する**形容詞**の連用形）

例文3　静かな湖畔に貸しボートが浮かんでいる。（「湖畔」という名詞を修飾する**形容動詞**の連体形）

例文4　静かに暮らすにはここは最適な山村です。（「暮らす」という動詞を修飾する**形容動詞**の連用形）

※英語では、形容詞や動詞を修飾するものを副詞と呼び、名詞を修飾するものを形容詞と呼びます。英語の文法上の分類では、連体詞や形容動詞はありません。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ない」の識別……「打ち消し」という点では同じ。文法上、形容詞の「ない」と助動詞の「ない」に分かれる。

識別法1　「ない」の前で文節が切れる（**「ネ」と入れられる→形容詞**／入れられない→助動詞）

★文節で切れるということは、その「ない」は自立語だから。

例文1　おいしくはないが値段は安い。
　　　おいしくは**ネ**　ないが**ネ**　値段は**ネ**　安い。　○→　形容詞

例文2　今日、図書館には行かない。
　　　今日**ネ**、図書館には**ネ**　行か**ネ**　ない。　×→　助動詞

識別法2　「ぬ」と言い換えられる→助動詞／「ぬ」と言い換えられない→形容詞

★「ぬ」は、古語の打ち消しの助動詞「ず」の連体形

例文1　おいしくはないが値段は安い。→おいしくは**ぬ**～　×→形容詞

例文2　今日、図書館には行かない。　→行か**ぬ**　○→助動詞

ただし「洗濯しない」「食事しない」「閲覧しない」など「サ変動詞＋ない」は注意。
「洗濯せぬ」「食事せぬ」「閲覧せぬ」など変形をともなう。

ともかく「～しない」は「サ変動詞＋助動詞」なのだ、と覚えておくのも一つの手です。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「さえ」の識別……助詞の一種の「さえ」には大きく二つの意味があります。

●限定や条件＝「〜ば」という仮定や条件を表すことばとセット

例文 この万年筆さえあれば、他には何もいらない。

●極端な例示＝強調された極端な例によって他のことを類推させる。「さえ」のあとに強調の「も」を入れられる。

例文 すでに満腹で、前菜のスープでさえ食べられそうにありません。（メイン料理はますます食べられそうにない）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「に」の識別……

形容動詞の連用形の末尾＝用言を修飾していて、さらに「〜な」「〜だ」と言い換えられる。
副詞の末尾＝用言を修飾していて、さらに「〜な」「〜だ」と言い換えられない。
例文1 まじめに本を読む。→「まじめな」「まじめだ」○→形容動詞
例文2 元気にあいさつする。→「元気な」「元気だ」○→形容動詞
例文3 ただちに現場に向かう。→「ただちな」「ただちだ」→副詞

助詞＝名詞＋「に」のカタチ
例文 テーマパークにでかける。 リゾートホテルに宿泊する。

※他にも文法上はいくつかあるのですが、基礎教養としてはここまでにします。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「だ」の識別……

形容動詞の末尾＝「〜な」と言い換えられる→形容動詞

例文 うちの子はすこやかだ。…「すこやかな」→形容動詞の末尾

過去の助動詞＝動詞＋「だ」のカタチ→過去の助動詞

例文 だるまさんがころんだ。…転ぶ＋「だ」→過去の助動詞

断定の助動詞＝名詞＋「だ」のカタチ→断定の助動詞

例文 駅前のあの姿は警察官だ。…警察官＋「だ」→断定の助動詞

伝聞や様態の助動詞の末尾＝「そうだ」でまとまるカタチ→伝聞や様態の助動詞「そうだ」

例文1 報道では犯人は逮捕されたそうだ。…「そうだ」→伝聞の助動詞

例文2 あのランナーは今にも倒れそうだ。…「そうだ」→様態の助動詞

不確かな断定の助動詞の末尾＝「ようだ」でまとまる→不確かな断定の助動詞

例文 彼はどうも医学部の学生のようだ。…「ようだ」→不確かな断定の助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

口語文法（現代文法）の復習問題

文節の相互関係

次の――部の文節について、相互の関係は何か、選択肢ア～オから選んで記号で答えなさい。

選択肢【ア　並立の関係　　イ　修飾・被修飾の関係　　ウ　接続の関係　　エ　主語・述語の関係　　オ　補助の関係】

①　真っ白な　雪が　屋根に　積もった。　（　　）
②　お腹が　すいたから、昼食に　しよう。　（　　）
③　アメリカと　韓国の　大統領が　訪日する。　（　　）
④　来年度の　学習計画を　発表して　みよう。　（　　）
⑤　ここは　見事な　桜並木ですね。　（　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

品詞の分類

次の1～4は口語文法の用語だが、ア～エの中からそれぞれの説明として適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

1　**形容動詞**

ア　活用し、終止形の末尾が「い」になる。
イ　活用し、終止形の末尾が「だ」になる。
ウ　活用せず、修飾語になる。
エ　活用せず、主語になる。

2　**副詞**

ア　活用し、名詞を修飾する。
イ　活用せず、形容詞や動詞などを修飾する。
ウ　活用し、独立語になる。
エ　活用せず、述語になる。

3　**助動詞**

ア　自立語で、述語になる。
イ　自立語で、主に体言を修飾する。
ウ　付属語で、活用する。
エ　付属語で、活用しない。

4　**名詞**

ア　体言とも言い、主語になれる。
イ　用言とも言い、述語になる。
ウ　体言とも言い、修飾語になる。
エ　用言とも言い、終止形は「ウ」の音になる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

名詞の分類

次の――部はすべて名詞であるが、その分類として最も適切なものを選択肢ア～オから選び、記号で答えなさい。

選択肢【ア　数詞　イ　普通名詞　ウ　形式名詞　エ　代名詞　オ　固有名詞】

①　明日は、ところによっては雷雨となるでしょう。（　　　）
②　飛行機は太平洋上空にさしかかったようだ。（　　　）
③　地図を見ると大きな河川が平野を流れている。（　　　）
④　休みも終わり、まもなく二学期の始まりです。（　　　）
⑤　彼とは小学校で出会い、それ以来の友人だ。（　　　）

副詞と連体詞

次の各文の――線部について、品詞が副詞であるものにはA、連体詞にはB、それ以外の品詞にはCの記号を書きなさい。

①　学校の正門わきに、大きな桜の木があります。（　　　）
②　遅刻しそうで、今朝は、少しあわてて家を出ました。（　　　）
③　駅前に、おいしいパンを売るお店ができたそうです。（　　　）
④　昨夜以来、雨がしとしと降り続いています。（　　　）
⑤　あらゆる国のリーダーが参加する会議が開かれます。（　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ない」の識別

次の傍線部と文法上の用法が同じものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

美しくないけれども品がある。

ア　小説はめったに読まない人。　　イ　土曜日は出社しない予定です。

ウ　新聞に目を通す暇もない。　　エ　雨にはならない様子。

「さえ」の識別

次の各文の――線部について、限定や条件を示すものにはA、極端な例示にはBの記号を書きなさい。

① 本さえあれば日曜をすごせる。　（　　）

② 目の前にあってさえ信じない。　（　　）

③ あいさつする時間さえないらしい。　（　　）

④ 子供でさえ理解できる内容だ。　（　　）

⑤ 彼さえ参加してくれれば大丈夫だ。　（　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「に」の識別

次の各文の――線部について、形容動詞の末尾を示すものにはA、副詞の末尾にはB、助詞にはCの記号を書きなさい。

① 課題に真剣に取り組んでいる。（　　）
② すでに遠くへいってしまった。（　　）
③ 週末は駅前に集合する。（　　）
④ 彼はしきりに左腕をさすった。（　　）
⑤ 春から大学に進学します。（　　）

「だ」の識別

次の――部の分類として最も適切なものを選択肢ア～カから選び、記号で答えなさい。

選択肢
【ア　形容動詞の末尾　　イ　過去の助動詞　　ウ　断定の助動詞
エ　伝聞の助動詞の末尾　　オ　様態の助動詞の末尾　　カ　不確かな断定の助動詞の末尾】

① 今年は例年になく暖冬になるそうだ。（　　）
② 彼はこの時間から出勤するようだ。（　　）
③ 彼女こそがクラスのリーダーだ。（　　）
④ この土地の魚料理は味わい豊かだ。（　　）
⑤ 暖炉があって室内はあたたかそうだ。（　　）
⑥ あのミステリー小説は昨年読んだ。（　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講 文学史と口語文法 解答

近代文学史の復習問題 解答

その1 『あこがれ』『一握（いちあく）の砂（すな）』『悲（かな）しき玩具（がんぐ）』などの詩集や歌集を残した近代の歌人は誰か。

ア 夏目漱石（なつめそうせき） イ 森鷗外（もりおうがい） **ウ 石川啄木（いしかわたくぼく）** エ 武者小路実篤（むしゃのこうじさねあつ）

その2 夏目漱石の門下生で、『羅生門（らしょうもん）』『鼻（はな）』『芋粥（いもがゆ）』など日本の古典を下じきにした作品を書いた小説家は誰か。

ア 斎藤茂吉（さいとうもきち） イ 樋口一葉（ひぐちいちよう） ウ 柳田国男（やなぎたくにお） **エ 芥川龍之介（あくたがわりゅうのすけ）**

その3 近代の文学理論書で言文一致（げんぶんいっち）を説いたものはどれか。

ア 『歌詠（うたよ）みに与（あた）ふる書』 **イ 『小説神髄（しょうせつしんずい）』** ウ 『小説の方法』 エ 『「いき」の構造』

その4 日本人初のノーベル文学賞受賞者は誰か。

ア 川端康成（かわばたやすなり） イ 湯川秀樹（ゆかわひでき） ウ 大江健三郎（おおえけんざぶろう） エ 村上春樹（むらかみはるき）

その5 「東海の小島の磯（いそ）の白砂（しらすな）に／われ泣きぬれて／蟹（かに）とたはむる」などの短歌を収録した石川啄木の歌集はどれか。

ア 『智恵子抄（ちえこしょう）』 イ 『道程（どうてい）』 ウ 『春（はる）と修羅（しゅら）』 **エ 『一握（いちあく）の砂（すな）』**

その6 「のど赤き玄鳥（つばくらめ）ふたつ屋梁（はり）にゐて足乳（たらち）ねの母は死に給ふなり」などの短歌を収録した斎藤茂吉の歌集はどれか。

ア 『赤光（しゃっこう）』 イ 『みだれ髪（がみ）』 ウ 『別離（べつり）』 エ 『鍼（はり）の如（ごと）く』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その7 「鶏頭の十四五本もありぬべし」などの写生句で知られる正岡子規が創刊に関わった雑誌はどれか。

ア『文学界』 イ『新思潮』 **ウ『ホトトギス』** エ『歴程』

その8 明治時代、夏目漱石の初期の作品で、「親譲りの無鉄砲で小供の頃から損ばかりしている」ではじまる小説はどれか。

ア『細雪』 イ『それから』 ウ『こころ』 **エ『坊ちゃん』**

その9 明治時代、森鷗外の作品で、ドイツ留学の経験をふまえた小説はどれか。

ア『渋江抽斎』 イ『高瀬舟』 **ウ『舞姫』** エ『風土』

その10 大正時代、白樺派の志賀直哉によって書かれた自伝的な小説はどれか。

ア『城の崎にて』 イ『蒲団』 ウ『蟹工船』 エ『李陵』

その11 昭和初期、四季派に属する中原中也によって発表された詩集はどれか（二つ）。

ア『山羊の歌』 **イ『在りし日の歌』** ウ『一握の砂』 エ『若菜集』

その12 日本人としては二人目のノーベル文学賞受賞者である大江健三郎の小説はどれか。

ア『沈黙』 **イ『飼育』** ウ『伊豆の踊子』 エ『雪国』

その13 明治時代、雑誌「ホトトギス」に掲載された夏目漱石のデビュー作はどれか。

ア『吾輩は猫である』 イ『三四郎』 ウ『明暗』 エ『枯野抄』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その14　大正時代、『今昔（こんじゃく）物語集』などの古典をもとにして、人間心理を表現した芥川龍之介（あくたがわりゅうのすけ）の作品はどれか。

ア　『檸檬（れもん）』　イ　『山椒魚（さんしょううお）』　**ウ　『鼻（はな）』**　エ　『風立（かぜた）ちぬ』

その15　川端康成（かわばたやすなり）の代表作で、「道がつづら折りになって、いよいよ天城峠（あまぎとうげ）に近づいたと思う頃」ではじまる作品はどれか。

ア　『雪国（ゆきぐに）』　イ　『陰翳礼讃（いんえいらいさん）』　**ウ　『伊豆（いず）の踊子（おどりこ）』**　エ　『或（あ）る女（おんな）』

その16　東北地方の農学校に勤めつつ多くの詩を残した宮沢賢治（みやざわけんじ）の童話はどれか。

ア　『銀河鉄道（ぎんがてつどう）の夜（よる）』　イ　『暗夜行路（あんやこうろ）』　ウ　『田舎教師（いなかきょうし）』　エ　『蒲団（ふとん）』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

口語文法（現代文法）の復習問題　解答

文節の相互関係

次の――部の文節について、相互の関係は何か、選択肢ア～オから選んで記号で答えなさい。

選択肢【ア　並立の関係　イ　修飾・被修飾の関係　ウ　接続の関係　エ　主語・述語の関係　オ　補助の関係】

①　真っ白な　雪が　屋根に　積もった。（エ）
②　お腹が　すいたから、昼食に　しよう。（ウ）
③　アメリカと　韓国の　大統領が　訪日する。（ア）
④　来年度の　学習計画を　発表して　みよう。（オ）
⑤　ここは　見事な　桜並木ですね。（イ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

品詞の分類 解答

次の1〜4は口語文法の用語だが、ア〜エの中からそれぞれの説明として適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

1 **形容動詞**

ア 活用し、終止形の末尾が「い」になる。 形容詞

イ 活用し、終止形の末尾が「だ」になる。

ウ 活用せず、修飾語になる。 副詞・連体詞

エ 活用せず、主語になる。 名詞

2 **副詞**

ア 活用し、名詞を修飾する。 動詞・形容詞・形容動詞

イ 活用せず、形容詞や動詞などを修飾する。

ウ 活用し、独立語になる。

エ 活用せず、述語になる。

3 **助動詞**

ア 自立語で、述語になる。 動詞・形容詞・形容動詞

イ 自立語で、主に体言を修飾する。 連体詞

ウ 付属語で、活用する。

エ 付属語で、活用しない。 助詞

4 **名詞**

ア 体言とも言い、主語になれる。

イ 用言とも言い、述語になる。 動詞・形容詞・形容動詞

ウ 体言とも言い、修飾語になる。

エ 用言とも言い、終止形は「ウ」の音になる。 動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

名詞の分類　解答

次の――部はすべて名詞であるが、その分類として最も適切なものを選択肢ア～オから選び、記号で答えなさい。

選択肢【ア　数詞　イ　普通名詞　ウ　形式名詞　エ　代名詞　オ　固有名詞】

① 明日は、ところによっては雷雨となるでしょう。（ウ）
② 飛行機は太平洋上空にさしかかったようだ。（オ）
③ 地図を見ると大きな河川が平野を流れている。（イ）
④ 休みも終わり、まもなく二学期の始まりです。（ア）
⑤ 彼とは小学校で出会い、それ以来の友人だ。（エ）

副詞と連体詞　解答

次の各文の――線部について、品詞が副詞であるものにはA、連体詞にはB、それ以外の品詞にはCの記号を書きなさい。

① 学校の正門わきに、大きな桜の木があります。（B）
② 遅刻しそうで、今朝は、少しあわてて家を出ました。（A）
③ 駅前に、おいしいパンを売るお店ができたそうです。（C）
④ 昨夜以来、雨がしとしと降り続いています。（A）
⑤ あらゆる国のリーダーが参加する会議が開かれます。（B）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ない」の識別　解答

次の傍線部と文法上の用法が同じものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

美しくないけれども品がある。　➡**形容詞**

ア　小説はめったに読まない人。　（助動詞）

イ　土曜日は出社しない予定です。　（助動詞）

ウ　新聞に目を通す暇もない。

エ　雨にはならない様子。　（助動詞）

「さえ」の識別　解答

次の各文の――線部について、限定や条件を示すものにはA、極端な例示にはBの記号を書きなさい。

① 本さえあれば日曜をすごせる。（ A ）

② 目の前にあってさえ信じない。（ B ）

③ あいさつする時間さえないらしい。（ B ）

④ 子供でさえ理解できる内容だ。（ B ）

⑤ 彼さえ参加してくれれば大丈夫だ。（ A ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「に」の識別　解答

次の各文の――線部について、形容動詞の末尾を示すものにはA、副詞の末尾にはB、助詞にはCの記号を書きなさい。

① 課題に真剣に取り組んでいる。　（　A　）
② すでに遠くへいってしまった。　（　B　）
③ 週末は駅前に集合する。　（　C　）
④ 彼はしきりに左腕をさすった。　（　B　）
⑤ 春から大学に進学します。　（　C　）

「だ」の識別　解答

次の――部の分類として最も適切なものを選択肢ア～カから選び、記号で答えなさい。

選択肢【ア　形容動詞の末尾　イ　過去の助動詞　ウ　断定の助動詞　エ　伝聞の助動詞の末尾　オ　様態の助動詞の末尾　カ　不確かな断定の助動詞の末尾】

① 今年は例年になく暖冬になるそうだ。　（　エ　）
② 彼はこの時間から出勤するようだ。　（　カ　）
③ 彼女こそがクラスのリーダーだ。　（　ウ　）
④ この土地の魚料理は味わい豊かだ。　（　ア　）
⑤ 暖炉があって室内はあたたかそうだ。　（　オ　）
⑥ あのミステリー小説は昨年読んだ。　（　イ　）